



御殿
姫之間
HIMENOMA



料金(税別)

昼：5,000円～
夜：15,000円～

座席

昼：20～40席
夜：10～30席

姫之間での特別なひととき
薩摩の美味をいただく

仙巖園は1658年(万治元年)に島津家19代光久が造営しました。薩摩の風土を取り込んだ見事な景観は幕末の名君・島津斉彬や徳川将軍家に嫁いだ篤姫、西郷隆盛も魅了したといわれております。

約5万平方メートルもの広大な園の中心に立つ御殿には最後の薩摩藩主・島津忠義とその家族が明治時代を過ごした部屋が今でも現存します。「姫之間」は忠義の姉妹の居室で、後に香淳皇后(昭和天皇の皇后)の母となる三女侘子もこの部屋で幼少期を過ごした、まさに姫君のお部屋になります。

この由緒正しき空間で、薩摩切子の器や島津家の家紋入りのお膳を使った伝統的な郷土料理を是非ご堪能ください。(夜食の際には、料理・歴史の解説や仙巖園総料理長による郷土料理の説明もございます)

